

平成29年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

岡山県

行 事 名 称	文化財立入査察及び消火訓練
実施期間・日時	平成30年1月26日、29日
実 施 場 所	市内にある文化財の防火対象物（訓練は旧片山家住宅、旧広兼家住宅）
主 催 者	高梁市教育委員会社会教育課、高梁市消防本部予防課

■実施内容

訓練の想定

強風にあおられ、たばこの吸殻が吸殻入れから落ち、付近の枯草等に着火し、文化財に延焼危険があるとの想定で初期消火訓練を行う。

訓練の内容

消火用水消火器を用いて初期消火を行う。

参加者及び役割分担

管理を行っている観光協会の職員が訓練用水消火器を使用し、初期消火訓練を行う。

特に工夫した点

設置設備の消火器の取り扱いに慣れていただく。

問題点・課題

立地が山間部であり、火災が発生すれば観光協会の職員や地元住民による初期消火がとても重要となるため、文化財周辺地域住民を含めた消火訓練が必要である。

日頃から各施設において火災が発生した場合の初期消火や避難誘導、通報などの流れを想定し、機器の使用方法を確認しておく必要がある。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて、防火査察が行われることで、文化財の防火に対する認識を深めていただく必要がある。あわせて、小規模ではあるが、万が一のために初期消火の訓練を行う必要がある。日常的に火災が発生した際の行動について、シミュレーションを行うように指導する必要がある。

訓練風景



旧片山家住宅



旧広兼家住宅